

平成 26 年度特別支援学校教員資格認定試験問題（第 1 次）

教職に関する科目

（問題 1 ～問題 30 全 30 問）

時間 12 : 40 ～ 14 : 10

（受験上の注意）

- (1) 問題冊子は表紙を除いて 22 ページです。
- (2) 監督員の「始め」の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- (3) 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄の該当する○をていねいに塗りつぶしてください。
- (4) 解答用紙に氏名、受験番号を記入し、科目名と受験番号の該当する○をていねいに塗りつぶしてください。
- (5) この試験の解答時間は、「始め」の合図があってから、90 分です。
- (6) 試験開始後 30 分間は、退室を認めません。  
30 分経過後に途中退室する場合は、解答用紙をそのまま机の上に残して退室してください。  
問題用紙は持ち帰ってください。
- (7) 監督員の「やめ」の合図がありましたら、解答を直ちにやめ、解答用紙が回収されるまで、着席したまま待っててください。
- (8) 問題用紙の余白は、下書きに使用しても差し支えありません。

問題 1 「日本国憲法」(昭和 21 年 11 月 3 日公布)の条文として正しいものを下のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

イ すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

ウ すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

エ 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

問題 2 「教育基本法」(平成 18 年 12 月 22 日法律第 120 号)の条文として誤っているものを、下のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

イ 大学は、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

ウ 教育は、不当な支配に服することなく、この法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきものであり、教育行政は、国と地方公共団体との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならない。

エ 高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。

問題 3 「学校教育法」(昭和 22 年 3 月 31 日法律第 26 号)の条文として正しいものを、下のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。

イ 学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定のある場合を除いては、その学校の経費を負担する。

ウ 保護者は、子の満 5 歳に達した日の翌日以後における最初の学年の初めから、満 11 歳に達した日の属する学年の終わりまで、これを小学校又は特別支援学校の小学部に就学させる義務を負う。

エ 教諭は、校長(副校長を置く小学校にあっては、校長及び副校長)と教頭を助け、校務を整理し、児童の教育をつかさどる。

問題 4 平成 16 年に行われた「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和 31 年 6 月 30 日法律第 162 号)の改正により、「教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その所管に属する学校のうちその指定する学校(以下この条において「指定学校」という。)の運営に関して協議する機関として、当該指定学校ごとに、学校運営協議会を置くことができる。」(第 47 条の 5 第 1 項)と規定された。下のアからエまでのうち、学校運営協議会に関する説明として誤っているものを一つ選び、その記号で答えなさい。

- ア 学校運営協議会は、学校の教職員の採用などについての権限を有し、独自に教職員を募集して採用することができる。
- イ 学校の運営に大きな問題が生じている場合には、教育委員会は指定を取り消さなければならない。
- ウ 学校運営協議会の委員は、保護者や地域住民等の中から、教育委員会が任命する。
- エ 指定された学校の校長は、教育課程の編成などについての学校運営の基本的な方針を作成し、学校運営協議会の承認を得なければならない。

問題 5 次の文章は、中央教育審議会答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」（平成24年8月28日）の一部である。文章中  に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

- ① や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、高度化・複雑化する諸課題への対応が必要となっており、学校教育において、求められる人材育成像の変化への対応が必要である。
- これに伴い、21世紀を生き抜くための力を育成するため、これからの学校は、 ② の習得に加え、思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上、多様な人間関係を結んでいく力の育成等を重視する必要がある。これらは、様々な言語活動や協働的な学習活動等を通じて効果的に育まれることに留意する必要がある。
- 今後は、このような新たな学びを支える教員の養成と、 ③ 像の確立が求められている。
- 一方、 ④ 等への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用など、諸課題への対応も必要となっている。
- これらを踏まえ、教育委員会と大学との連携・協働により、教職生活全体を通じて  ③ を継続的に支援するための一体的な改革を行う必要がある。

〔解答群〕

- |   |            |                 |
|---|------------|-----------------|
| ア | ① グローバル化   | ② 外国語           |
|   | ③ 進化を続ける教員 | ④ 体罰            |
| イ | ① 都市化      | ② 基礎的・基本的な知識・技能 |
|   | ③ 学び続ける教員  | ④ 体罰            |
| ウ | ① 都市化      | ② 外国語           |
|   | ③ 進化を続ける教員 | ④ いじめ・暴力行為・不登校  |
| エ | ① グローバル化   | ② 基礎的・基本的な知識・技能 |
|   | ③ 学び続ける教員  | ④ いじめ・暴力行為・不登校  |

問題 6 『中学校学習指導要領』（平成 20 年文部科学省告示第 28 号）の「第 5 章 特別活動」の内容として正しいものを、下のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

- ア 部活動に関する記述がある。
- イ 生徒総会の回数に関する記述がある。
- ウ 国旗の掲揚、及び国歌斉唱の指導に関する記述がある。
- エ 総合的な学習の時間との関連については記述がない。

問題 7 次の文章の  に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

「いじめ防止対策推進法」（平成  ① 年 6 月 28 日法律第 71 号）第 1 条によれば、いじめは、「いじめを受けた児童等の教育を受ける  ② を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び  ③ の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な  ④ を生じさせるおそれがあるもの」とされる。

〔解答群〕

	①	②	③	④
ア	25	権 利	人 格	危 険
イ	25	義 務	個 性	被 害
ウ	24	権 利	個 性	危 険
エ	24	義 務	人 格	被 害

問題 8 『小学校学習指導要領』（平成 20 年文部科学省告示第 27 号）の「第 1 章 総則 第 1 教育課程編成の一般方針」の「2」は、道徳教育について述べている。その内容として適切なものを、下のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

- ア 道徳教育を進めるに当たっては、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな活動を通して児童の内面に根ざした人間性の育成が図られるよう配慮しなければならない。
- イ 道徳教育は、日本国憲法及び教育基本法に定められた教育の根本精神に基づく。
- ウ 学校における道徳教育は、道徳の時間を要<sup>かなめ</sup>として学校の教育活動全体を通じて行う。
- エ 道徳教育は、学級担任が児童の個性を考慮し、適切な指導を行わなければならない。

問題 9 次の各文は、「教科書の発行に関する臨時措置法」（昭和 23 年 7 月 10 日法律第 132 号）に関する記述である。下のアからエまでのうちから正しいものを一つ選び、その記号で答えなさい。

- ア 教科書とは、文部科学大臣の検定を経たもののみをいう。
- イ 教科書とは、教育課程の構成に応じて組織排列された教科の補助的な教材として、教授の用に供せられる児童又は生徒用図書である。
- ウ 教科書の定価は、都道府県の教育委員会が決める。
- エ 都道府県の教育委員会は、毎年、文部科学大臣の指示する時期に、教科書展示会を開かなければならない。

問題10 次のA群には人名が、B群にはその人物と特に関係の深い語句が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

〔A 群〕

〔B 群〕

- |   |                          |    |          |
|---|--------------------------|----|----------|
| ア | クロンバック (Cronbach, L. J.) | …… | 適性処遇交互作用 |
| イ | アイスナー (Eisner, E. W.)    | …… | 教育的鑑識眼   |
| ウ | タイラー (Tyler, R. W.)      | …… | 反省的実践家   |
| エ | ヴィゴツキー (Vygotsky, L. S.) | …… | 最近接発達領域  |

問題11 次のA群には人名が、B群にはその人物と関係の深い語句が示されている。正しいものを○、正しくないものを×とするとき、下の解答群アからエまでの組合せのうちから適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

〔A 群〕

〔B 群〕

- |   |                          |    |           |
|---|--------------------------|----|-----------|
| ① | スペンサー (Spencer, H.)      | …… | 社会進化論     |
| ② | モンテッソーリ (Montessori, M.) | …… | 子供の家      |
| ③ | イタール (Itard, J.)         | …… | 恩物        |
| ④ | セガン (Séguin, É.)         | …… | アヴェロンの野生児 |

〔解答群〕

- |   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| ア | ①○ | ②○ | ③× | ④× |
| イ | ①× | ②○ | ③○ | ④× |
| ウ | ①○ | ②× | ③× | ④○ |
| エ | ①× | ②× | ③○ | ④○ |

問題12 1921年(大正10年)、「八大教育主張講演会」が東京で開かれた。A群には講演した人物のうちの4人の名が、B群にはその人物が提唱した理論が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 〔A 群〕              | 〔B 群〕 |
| ア 千葉命吉 …… 一切衝動皆満足論 |       |
| イ 及川平治 …… 動的教育論    |       |
| ウ 小原国芳 …… 自学教育論    |       |
| エ 手塚岸衛 …… 自由教育論    |       |

問題13 次の各文は欧米の代表的な思想家の教育観を述べたものである。下のアからエまでのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

- ア 「子どもの理性に訴えて話し合え」というロック(Locke, J.)の教育方法を批判したルソー(Rousseau, J. J.)は、理性的人間の形成は、理性ではなく、感情に基づかなければならないと主張した。
- イ 児童神性論を展開したフレーベル(Fröbel, F. W. A.)は、主著『人間の教育』のなかで、「さあ、われわれの子どもたちに生きようではないか」と主張し、社会の革新を訴えた。
- ウ 社会は個人を越えた独自の存在で、それ自体固有の人格をそなえた道徳的存在だとするデュルケーム(Durkheim, É.)は、伝統的に重んじられてきた普遍人や一般的教養といった教育目的を批判し、社会教育論を説いた。
- エ 子どもを偶然の作用に委ねる生活教育を批判したヘルバルト(Herbart, J. F.)は、教授こそが多面性を均等に発展させることができると主張し、教授の四段階を提唱した。

問題14 次のA群は各時代の著作や事項の特徴を述べたもので、B群にはそれらの歴史的順序が示してある。古いものから順に配列されているものを、B群のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

- ① エレン・ケイ (Ellen Key) は、『児童の世紀』と題する著作のなかで、教育の最大の秘訣は何も教育しないことだと主張して、子どもの個性と自己決定力の育成を20世紀の教育の課題とした。
- ② 「児童の権利に関する宣言 (ジュネーブ宣言)」は、児童が心身の正常な発達のための手段を持つ権利、飢え・病気・障害を負ったときに特別な支援を受ける権利、危機の際には最優先で救済を受ける権利などを確立した。
- ③ 鈴木三重吉が創刊した雑誌『赤い鳥』を基盤に展開された運動は、島崎藤村、北原白秋、芥川龍之介といった当時を代表する文学者の参加を得て、芸術性ゆたかな童話・童謡を創作する新しい児童文学運動となった。
- ④ 「児童の権利に関する条約」は、18歳未満を「児童」と定義し、国際人権規約において定められている権利を児童について敷衍<sup>ふえん</sup>し、児童の人権の尊重及び確保の観点から必要となる具体的な事項を規定した。

[B 群]

- ア ① → ④ → ③ → ②  
イ ① → ③ → ② → ④  
ウ ③ → ④ → ① → ②  
エ ③ → ① → ② → ④

問題15 次の各文は、文部科学省が実施している『社会教育調査報告書』（平成23年度）の結果についての説明である。下のアからエまでのうちから正しいものを一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 公民館（類似施設含む）の施設数は、平成20年度に比べて約7%増加している。

イ 図書館（同種施設含む）の施設数は、平成20年度に比べて109館減少している。

ウ 社会体育施設の職員数は、平成20年度に比べて約14,000人増加している。

エ 博物館の職員数は、平成20年度に比べて約1,800人減少している。

問題16 次の文は、「社会教育法」（昭和24年6月10日法律第207号）の条文である。□に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

この法律で「社会教育」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、学校の□①として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（□②及び□③の活動を含む。）をいう。

〔解答群〕

- |   |        |      |            |
|---|--------|------|------------|
| ア | ① 教育課程 | ② 芸術 | ③ ガイダンス    |
| イ | ① 教科教育 | ② 芸術 | ③ レクリエーション |
| ウ | ① 教育課程 | ② 体育 | ③ レクリエーション |
| エ | ① 教科教育 | ② 体育 | ③ ガイダンス    |

問題17 次の各文は、「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実施要領」（平成23年3月31日生涯学習政策局長裁定）にある地域住民等の参画による教育支援活動の説明である。下のアからエまでのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

- ア 授業等における学習補助や教員の業務補助などの学校支援
- イ 地域住民等への教育機会の提供や家庭教育に関する指導助言
- ウ 放課後等に子どもたちの安心安全な活動場所を確保し学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援
- エ 子どもの健康等に関する指導助言

問題18 次のA群には人名が、B群にはその人物の著作が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

[B 群]

- ア ギデنز (Giddens, A.) …… 『人間拡張の原理』
- イ リオタール (Lyotard, J.) …… 『ポストモダンの条件』
- ウ ヤング (Young, M.) …… 『メリトクラシー』
- エ コリンズ (Collins, R.) …… 『資格社会』

問題19 次の文中の ① から ③ に当てはまる用語の組合せとして適切なものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

① とは、教師が、児童・生徒の学業成績や学級内行動について肯定的な予測をすると、その通りに児童・生徒が変化する現象を指す。この現象は、② と呼ばれ、ローゼンソール (Rosenthal, R.) とヤコブソン (Jacobson, L.) がアメリカの小学校において、子どもたちの③ の増加のデータを示して実証したものである。

〔解答群〕

- |   |          |            |        |
|---|----------|------------|--------|
| ア | ① 教師達成効果 | ② ピグマリオン効果 | ③ 出席日数 |
| イ | ① 教師期待効果 | ② ハロー効果    | ③ 知能指数 |
| ウ | ① 教師達成効果 | ② ハロー効果    | ③ 出席日数 |
| エ | ① 教師期待効果 | ② ピグマリオン効果 | ③ 知能指数 |

問題20 次の感情に関する説明文アからエまでのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 感情のうち、原因が明白で急激に生じ、短い時間で終わり、比較的強いものを情動 (emotion) と言う。これに対して、原因が曖昧で、長い時間持続する、比較的弱い感情を気分 (mood) と言う。

イ プルチック (Pluchik, R.) は、進化の側面から、基本的な感情と行動の関係およびその結果がもたらす機能を関連づけた。たとえば「恐れ」の感情は「逃げる」という行動を引き起こし、その結果、外敵から我が身を守るという機能を果たす。

ウ 気分一致効果とは、覚えるときや思い出すときの気分と、記憶する材料がもつ感情面の性質が一致している場合に、不一致の場合よりも、覚えやすく、あるいは思い出しやすくなる現象のことを言う。

エ 感情的認知理論は、人が状況を認知的に評価することによって感情を経験するという考え方の総称であり、いくつかのモデルが提唱されている。古典的なモデルに、キャノン・バード説がある。

問題21 次のA群の各文章は、集団が子供に及ぼす心理的影響に関する説明である。①から④の各説明文が示す内容と関係の深い用語をB群から探し、その組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

〔A 群〕

- ① 子供がほかの仲間と一緒に協同で課題に取り組む場合や、先生から見られている状況で課題に取り組む場合の方が、1人で、誰にも見られずに課題に取り組む場合よりもパフォーマンス量が高まることもある。
- ② 子供がほかの仲間と一緒に協同で課題に取り組むとき、一緒に取り組む人数が、2人、4人、6人と増えていくにしたがって、1人当たりのパフォーマンス量が下がってしまうことがある。
- ③ 子供が集団でほかの仲間と一緒に課題に取り組むとき、リーダーシップを発揮する者が現れることがある。リーダーシップの機能は、大きく分けると二つある。
- ④ 子供は、自分と同じ集団のメンバーを、同じ集団に属しているという理由だけでも、ほかの集団のメンバーよりも、優遇したり好意的に評価したりすることがある。

〔B 群〕

- a 内集団ひいき (in-group favoritism)
- b 社会的手抜き (social loafing)
- c PM理論 (PM theory)
- d 社会的促進 (social facilitation)

〔解答群〕

- |   |     |     |     |     |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ア | ①—a | ②—b | ③—d | ④—c |
| イ | ①—d | ②—a | ③—c | ④—b |
| ウ | ①—c | ②—d | ③—a | ④—b |
| エ | ①—d | ②—b | ③—c | ④—a |

問題22 次のA群の標準得点 (standard score) に関する各説明文について、正しいものを○、正しくないものを×とすると、下のB群のアからエまでのうちから適切な組合せを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

- ① 標準得点は、個人の得点が標準正規分布の平均値から、どの程度離れているかを表現したものである。
- ② 代表的な標準得点である  $z$  得点は、個人の得点から、その個人が属する集団の平均値を引いた値を求め、その値を標準偏差で割ることで求めることができる。
- ③ 標準得点は、集団の中における個人の相対的な位置を示す得点であるため、異なる平均値や標準偏差を持つ複数の分布の間で、得点の大小を比較しようとするときには用いることができない。
- ④ 標準得点の変換法には、標準得点の平均を 50、標準偏差を 10 に変換する方法もあり、これを偏差値と呼んでいる。

[B 群]

- |   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| ア | ①× | ②○ | ③○ | ④○ |
| イ | ①○ | ②○ | ③× | ④○ |
| ウ | ①× | ②○ | ③○ | ④× |
| エ | ①○ | ②× | ③× | ④× |

問題23 次のA群の発達に関する各説明文について、正しいものを○、正しくないものを×とすると、下のB群のアからエまでのうちから適切な組合せを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

- ① コールバーグ (Kohlberg, L.) の道徳性の発達理論によると、「約束を守らなければいけないのはなぜか」と問われ、「約束を守ると、ママにほめられるから」と答えた子どもの道徳性の発達水準は、後慣習的道徳性の水準に該当する。
- ② エインズワース (Ainsworth, M. D.) のストレンジ・シチュエーション法において、母親が戻ってきたときに母親を求める行動と母親との身体的接触を拒否する反応を共に示す赤ちゃんは、不安定愛着型 (アンビバレント) に該当する。
- ③ マーシャ (Marcia, J. E.) のアイデンティティ地位の研究によると、親が決めた職業に就くことに特に疑問をもたず職業を選択し継続している青年は、モラトリアムに位置付けられる。
- ④ ピアジェ (Piaget, J.) の子どもの認知発達の理論によると、「物の見かけ (たとえば、長さや形) が変化したとしても、その数量や重さは変化しない (同じままである)」という「保存」の概念を獲得するのは具体的操作期である。

[B 群]

- |   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| ア | ①○ | ②× | ③× | ④○ |
| イ | ①○ | ②× | ③○ | ④× |
| ウ | ①× | ②○ | ③× | ④○ |
| エ | ①× | ②○ | ③○ | ④× |

問題24 次のA群の知能に関する各説明文について、正しいものを○、正しくないものを×とすると、下のB群のアからエまでのうちから適切な組合せを一つ選び、その記号で答えなさい。

〔A 群〕

- ① KABC-IIとは、個別式の心理教育アセスメントバッテリーの第2版であり、認知処理能力と習得度を分けて捉えることができるという特徴をもつ。
- ② 結晶性能力とは、過去の学習経験だけでは対応できないような新しい状況や未知の問題に対して、柔軟に対応する適応力である。
- ③ ワーキングメモリとは、一時的に情報を保持する記憶のみではなく、読み書きや計算、思考などの認知的作業における情報の操作や変換の側面を重視している。
- ④ 個別式知能検査の一つWISC-IVでは、全検査IQ及び言語性IQ・動作性IQの算出が可能であり、個人の知的能力を分析的に捉えることができるという特徴がある。

〔B 群〕

- |   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| ア | ①○ | ②× | ③× | ④○ |
| イ | ①○ | ②× | ③○ | ④× |
| ウ | ①× | ②○ | ③× | ④○ |
| エ | ①× | ②○ | ③○ | ④× |

問題25 次の文中の  に当てはまるものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ある子どもに知能検査を実施したところ、精神年齢が9歳2か月、知能指数が110と算出された。この子どもの生活年齢は  である。

〔解答群〕

- ア 8歳4か月
- イ 9歳
- ウ 9歳2か月
- エ 10歳1か月

問題26 次のA群には人名が、B群にはその人物が提唱した理論・概念が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

〔A 群〕

〔B 群〕

- ア バンデューラ (Bandura, A.) …………… 観察学習
- イ ソーンダイク (Thorndike, E. L.) …… 試行錯誤学習
- ウ セリグマン (Seligman, M. E. P.) …… 道具的条件づけ
- エ デシ (Deci, E. L.) …………… 自己決定理論

問題27 次の文中の  から  に当てはまる用語の組合せとして適切なものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

パーソナリティを、いくつかのパターンに当てはめて分類する理論を  と呼ぶ。それに対して、パーソナリティを共通した傾向として持つものと仮定する理論を  と呼ぶ。YG 性格検査では、他人との得点の違いを  などで表すことがある。

[解答群]

- |   |       |       |          |
|---|-------|-------|----------|
| ア | ① 特性論 | ② 類型論 | ③ プロフィール |
| イ | ① 類型論 | ② 特性論 | ③ ヒストグラム |
| ウ | ① 特性論 | ② 類型論 | ③ ヒストグラム |
| エ | ① 類型論 | ② 特性論 | ③ プロフィール |

問題28 次のA群の各文は、心理学者の業績についての説明が示されている。

B群には人名が記されている。下のB群アからエまでのうちから、A群のどれにも当てはまらないものを一つ選び、その記号で答えなさい。

〔A 群〕

- 1 消化腺の研究でノーベル賞を受賞後、条件づけの研究を行い行動主義心理学に強い影響を与えた。
- 2 成熟した健康な人間の研究へと展開し、自己実現、頂上経験、創造性研究の端緒を開き、人間性心理学を確立した。
- 3 発達の特定の時期に、個人が達成すべき発達課題があるとして、それを具体的に記述した。

〔B 群〕

- ア ハヴィガースト (Havighurst, R. J.)
- イ マズロー (Maslow, A. H.)
- ウ パヴロフ (Pavlov, I. P.)
- エ スキナー (Skinner, B. F.)

問題29 次の文章はある心理検査について記述したものである。その名称として、下のアからエまでのうちから適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

1930年代に開発された投影法人格検査である。呈示された絵をもとに対象者に過去、現在、未来を通しての空想的物語を作らせ、その物語について欲求-圧力理論に基づき分析を行う。

ア SCT      イ TAT      ウ 内田クレペリン検査      エ MMPI

問題30 次の各文は、オペラント条件づけについての説明である。下のアからエまでのうちから適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 他者の行動の観察により、自分の思考・感情・行動の手がかりとする。

イ 認知的再構成法の中核的な考え方として、位置付けられる。

ウ 行動がもたらす結果により、その行動の生起確率が変化する。

エ 人間の行動は環境ではなく、その人の意思により決定される。

